

大学入学共通テスト（リスニング）について

英 語 科
近藤 栄作

1) どう変わるのか？ リスニング試験。

センター試験では、第1問から第4問の構成で、25問出題されていました。1問2点の配点で、全ての問題を、必ず2回聞くことができる出題でした。ところが大学入学共通テストの試行テストでは、長い内容ほど1回しか聞けない出題となっていて、受験生を不安にさせている状況です。今回は「リスニング」について、どういった変更が予想されるのかについて伝えたいと思います。

2) 英文が読まれる回数の違い（1回か、2回か、それが問題だ！）

100点満点の問題なので、問いが増え、マークする解答数は36個と、センター試験形式から11個増加しました。第1問から第6問という構成で、1～3が前半、4～6が後半です。前半・後半の違いが大きく意識されるのは、前半は「2回英文が読まれる」のに対して、後半は「1回しか英文が読まれない」ことです。ただし、第1問の中に「1回しか英文は読まれない」ものもあり、30分という時間の中に入れ込むためか、まだまだ流動的であると言わざるを得ません。

3) 構成の違い（説明は日本語です！）

第1問はAとBに分かれており、Aが4問あり、1問3点。Bは3問あり、1問4点。第2問は4問あり、1問3点で、第3問は4問あり、1問4点でした。前半部分が52点満点です。

第4問もAとBに分かれており、Aが2問で、1問4点。Bは1問で4点です。第5問は問1がa（1問）b（2問）c（1問）に分かれており、問2まであります。各4点で20点満点です。第6問もAとBに分かれており、Aが2問で、1問4点。Bも2問で、1問4点でした。後半部分は48点満点です。

リーディングと同様に、第1問から第6問まで英語力を示す指標のCEFRレベルが、第1問A1→第3問あたりからA2→第5問からB1へというように問題が進むにつれ難

易度が上がっていく設定です。構成の違いだけでも大きく変わっているなど感じられるはずです。

4) 出題の意図（今回は第1問Aだけ）

高等学校学習指導要領には、「コミュニケーション英語Ⅰ」の内容として、「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。」と記載があります。リスニング試験の第1問Aで問われている資質・能力は、英語の特徴やきまりに関する知識・技能です。また「思考力・判断力・表現力」の観点では、「日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取り、把握することができる。」という到達目標を達成しているかどうか問われています。

これから実際の試行テスト問題を使って、第1問Aの問い（1～4）について、問いの概要をそれぞれ見ていきます。

問1は、短い発話を聞いて、話者の要望を把握する問題。

I've had enough cookies, thanks. Some more tea would be nice.

- ①The speaker does not want anything.
- ②The speaker wants both tea and cookies.
- ③The speaker wants cookies.
- ④The speaker wants tea.

平均点は3点中1.8点。正答率は60%。

問2は、短い発話を聞いて、話者の意図を把握する問題。

I'd love to go to your birthday party tomorrow, but I have a lot of work to do.

- ①The speaker cannot go to the party.
- ②The speaker does not have work tomorrow.
- ③The speaker has another party to go to.
- ④The speaker's birthday is tomorrow.

平均点は3点中2.4点。正答率は80%。

問3は、短い発話を聞いて、状況を把握する問題。

It started raining after school. Since Junko had no umbrella, she ran home in the rain.

- ①Junko got wet in the rain.
- ②Junko had an umbrella.
- ③Junko ran school in the rain.
- ④Junko stayed at home.

平均点は 3 点中 2.5 点。正答率は 83 %。

問 4 は、短い発話を聞いて、話者の状況を把握する問題。

To become an English teacher, I won't have to study hard.

- ①The speaker is an English teacher.
- ②The speaker must study a lot.
- ③The speaker needs to study outside of Japan.
- ④The speaker teaches English abroad.

平均点は 3 点中 2.1 点。正答率は 68 %。

5) まとめ

今回は第 1 問 A の分析で終了します。大きく変わる共通テストですが、日頃の学習にしっかりと取り組めば、必ずいい点を取れると信じて頑張りましょう。